

無知の知

久田 直毅

●参加理由

高校に入学してから将来の夢がないことを理由にして勉強にやる気がでず、ダラダラと墮落した生活を送っていた。もちろん成績も落ちていた。そんな自分を変えようこの研修に申し込んだ。

●研修内容

何もかもが初めてだった私にはどれもためになるものばかりだったが、特に印象的だったことを書こうと思う。

① Oxford University 全体の活動

まず、一日目。Oxford 生 3 人が明るく迎えてくれた。主にこの 3 人と交流するのだが、はじめ彼らと話したときほとんど聞き取れなかった。これがイギリスかとショックを受けた。しかし、2 日目から、彼らがちょっとしたゲームを使って仲良くしてくれたおかげで私からも話すことができた。耳が慣れてくると時々聞きとれないものがあったものの、今学んでいること、最近のニュースやそれぞれの文化について語り合うことができた。彼らは優しく私の拙い英語をしっかりと聞いてくれた。私が訳わからない英文を使っても Is this meaning～? とわかりやすく問い直してくれた。しかし、だんだん話のネタがなくなってしまう、食事や移動中で彼らを 1 人にしてしまった。それはとても後悔していることである。もっと班で相談して話す内容を決めなければならなかったと思う。

またクリス先生の講義は日本とイギリスの教育の違い、ディベートや発音などより実践的な高度なレッスンであった。2 時間ずっと英語の講義なので神経を研ぎ澄ませてなければならなかった。とても疲れるが、英語に関しての興味関心が高くなったように思う。



▲自分の寮から見えた景色。(この日は寒くて雪が降りました。)

② プレゼンテーション

研修の後半には、5、6 人の Oxford 生に向けて日本についてのプレゼンを行う。プレゼンの練習はクリス先生が的確に 1 人 1 人イントネーションからアクセント、内容までしっかり見てくれた。私は大道芸部として道具の説明を軽くした後、演技した。その後、食堂でもう一度演技させてもらうことができた。話したことがない一般の方がいたから、緊張したがやりきることができた。こんな一生に一度の体験ができたことに誇りを持ち、とても嬉しかった。

③日本人との交流

現地で活躍または学んでいる日本人として倉林さんと後輩の医学部生、岡本さん、Oxfordの留学生2名、ガイドの3名の話聞いた。とくに岡本さんの話は衝撃的なものだった。岡本さんの過去の経験から今まで聞いたことがないような考えを知った。例えば、言葉一つでもどの視点からみるかにより大きく意味が変わってくるため言葉の本質について考えることの大切さや将来を見据えた勉強の方法を教えてくれた。また、私たちと一緒に研修に行ったISAの松井さんはいつも生徒と真剣に向き合い、時に厳しく、時に生徒のために活発に企画してくれた。松井さんの生き様もしっかり学ぶことができた。



④前高生の団結力

常に支え合い、困ったら助け合っていた。プレゼンでは分担しながら素晴らしい発表を創り上げていた。また自分が寝坊して遅刻した時も、準備を手伝ってくれたり、励ましてくれたりして頼りない班長をずっと支え、声かけをしてくれた。

●まとめ

1回体験することは100回見たり聞いたりすることより価値が高い。(ほんとに知らないことばかり)

後悔のないように積極的にコミュニケーションをとる。(コミュニケーションにしすぎはないと思う)

夢を持ち希望を持つ。(研修でかかわった人は全員将来について希望をもって話してくれた)

最後に研修に行かせてくれた両親や支えてくれたたくさんの方々に感謝したい。

